

令和2年3月8日（月曜日）



横浜市立山内中学校

横浜市青葉区美しが丘五丁目四番地

045(901)0030

卒業を前に

校長 石崎 一敏

このような状況の中で、生徒の皆さんは、我慢強くねばり強く頑張ってきました。厳しい中でも多くの活動を工夫して、成果を上げたと思います。

3年生の多くの生徒が私立高校の試験を終え、公立高校の共通選抜の結果が出ました。持てる力は十分発揮できたでしょうか？よい結果が出たでしょうか？よい結果は喜ばしいことですが、たとえそうでなくても、努力した記憶は自分自身の脳裏に焼き付くものです。頑張った日々や、悩みながらもやり抜いたことは無駄にはなりません。最後まで周りの人々の立場を思いやって、卒業の日を迎えてほしいと思います。

3年生は、昨年、夏休みを過ぎたころから進路について考え悩み、その準備をしてきました。面接練習をして、自分の進路の最終決定などを保護者と話し合い、よく考えたと思います。年が明け、1月には願書や志願手続きなど具体的な行動が要求されました。そして、いよいよ本番！2月15日（月）は公立高校共通選抜があり、続いて16日（火）～17日（水）まで面接及び特色検査がありました。合格発表は3月1日でした。希望どおりの高校へ合格し、進学を決めた人もいました。3月5日（金）には遠足でよみうりランドへバスで行きました。楽しい思い出ができたでしょうか。そのほかにもスポーツ大会や旅立ちの会などの行事、そして、合唱練習や卒業証書授与の仕方などの式練習も重ねています。すばらしい「第74回卒業証書授与式」になることを祈っています。

3年生の皆さん！もうすぐ卒業ですね。中学校を卒業するとそれぞれが違った環境になります。慣れない所で戸惑ったり、うまくいかないことがいろいろと出てくると思います。しかし、そのようなことがあるのは当たり前と、今のうちから考えておいてください。何事も心の準備が大切です。

「チーム山内」の一員として、クラスで、学年で活躍できたでしょうか。先生方も小学校も地域も一緒に今までも、そしてこれからも皆さんを見守ってくれると思います。気になることがあったら、家族や先生や地域の方々に相談してください。よい話が聞けると思います。

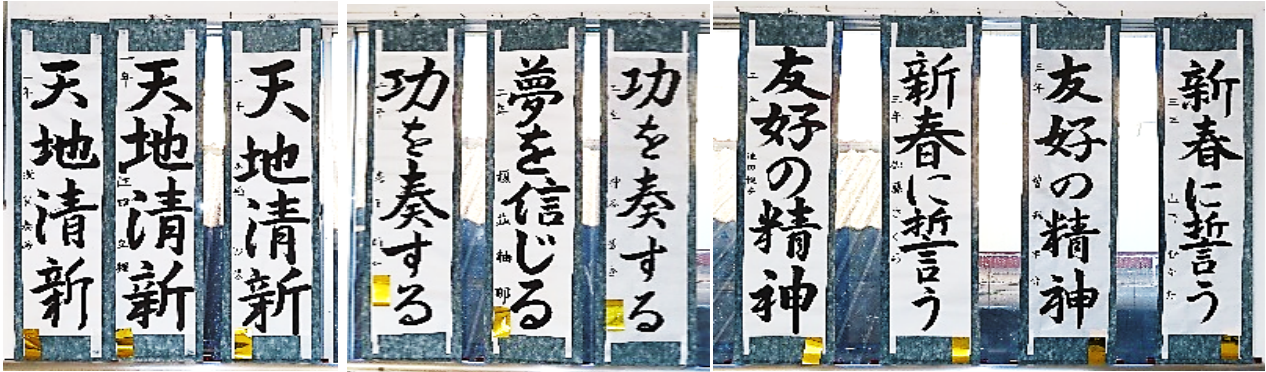
今後は、自分はどう生きていくかを選択することが求められてきます。どうせ無理という考えではなく、ならばどうすればよいかと考えられる人になってください。山内中学校の卒業生として、地域の一員として、広い視野で成長して行ってほしいと思います。



◆校内書写展

冬休み中の課題として、全校生徒が取り組んだ書き初めが教室に飾られました。各学年の金賞作品が渡り廊下に展示されました。新しい年のスタートにふさわしい立派な書が並びました。1月号に間に合いませんでしたので、遅くなりましたが今回ご紹介いたします。

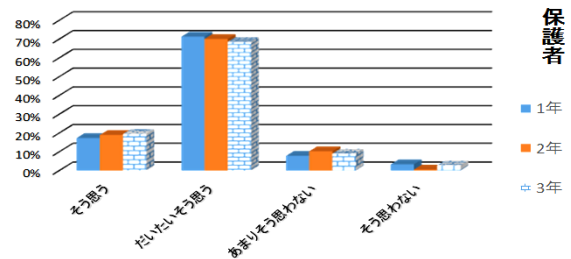
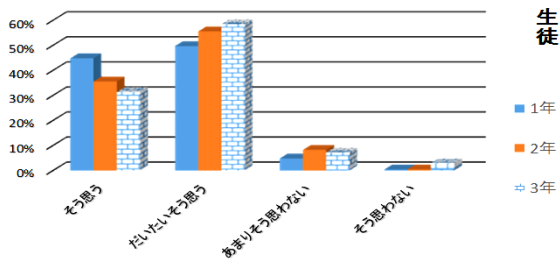
金賞受賞者



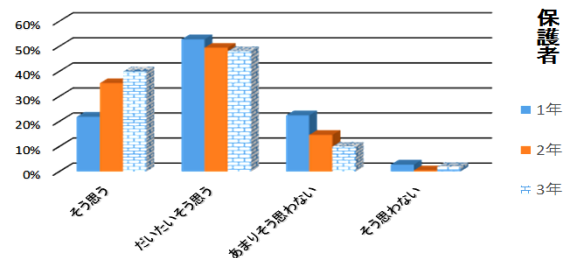
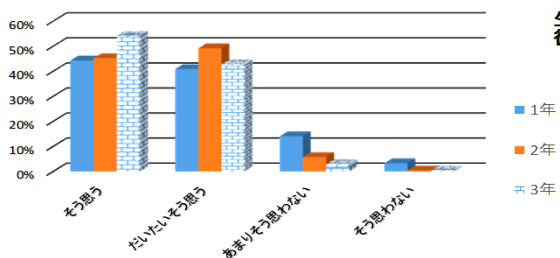
◆令和2年度 学校評価アンケート 分析・考察

保護者の方々、地域の皆様方、学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。提出していただいたアンケートを項目ごとにまとめ、データ分析・考察を行いました。

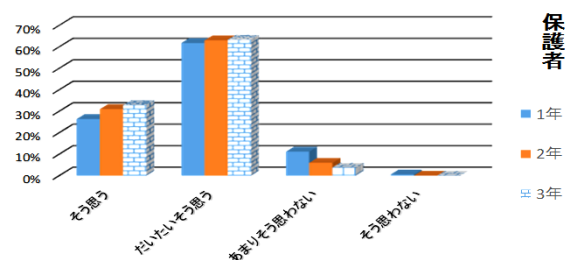
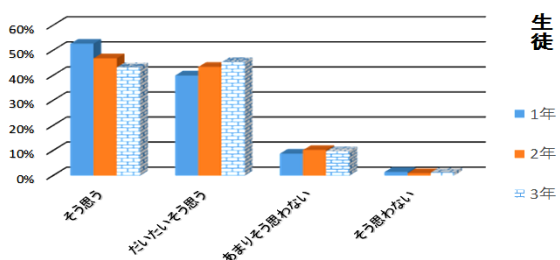
1. 山内中は学校教育目標を目指して、授業や行事などが行われていると思いますか。



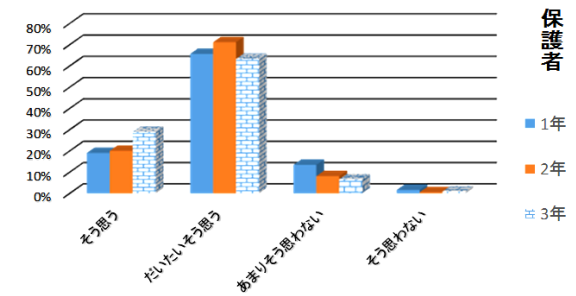
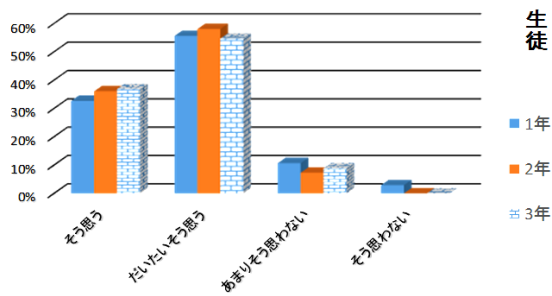
2. あなたは、あいさつをしっかりとしていますか。



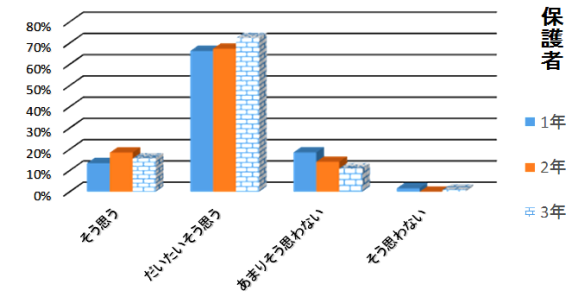
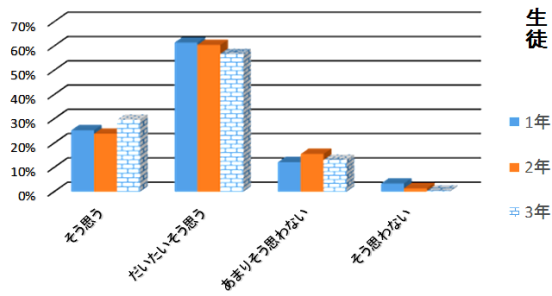
3. あなたは、学習や部活動などに目標をもって生活していますか。



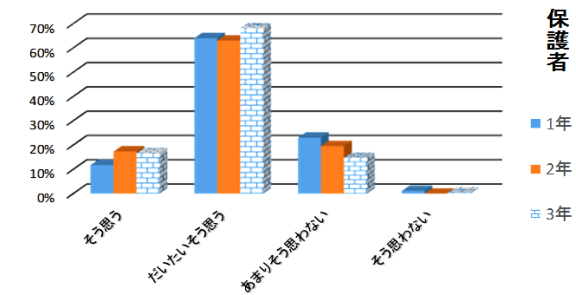
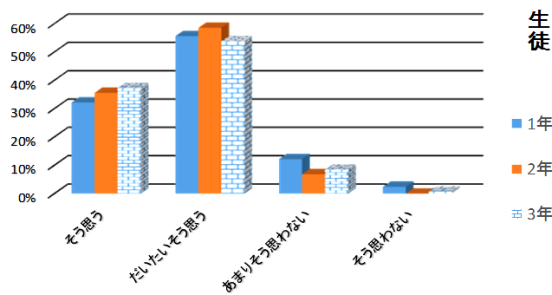
4. あなたは、日々の授業や活動を通して、「基礎的・基本的な知識・技能」を身に付けていると思いますか。



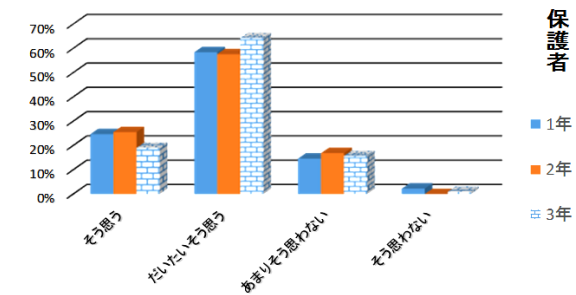
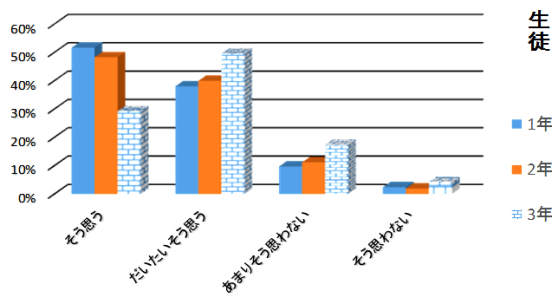
5. あなたは、日々の授業や活動を通して、「思考力・判断力・表現力」を身に付けていると思いますか。



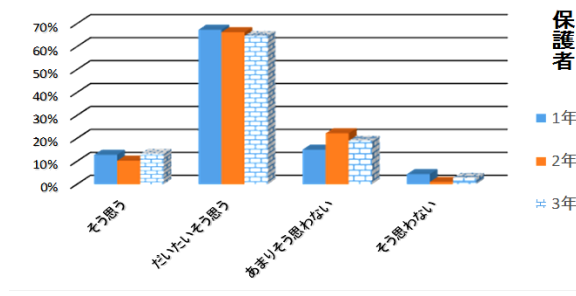
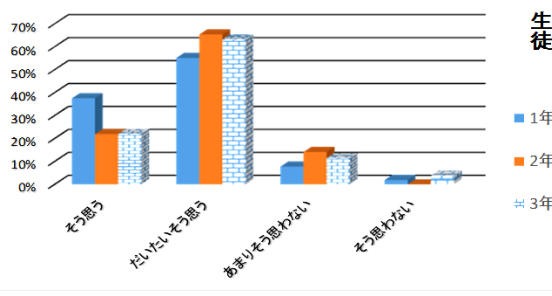
6. あなたは、日々の授業や活動を通して、「主体的な学習態度」を身に付けていると思いますか。



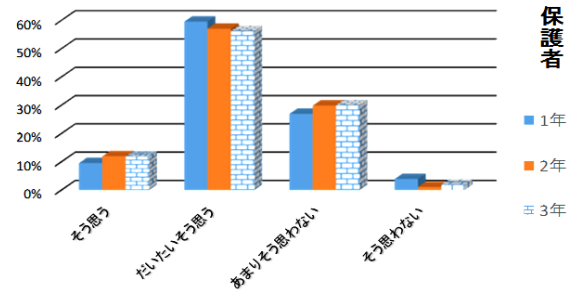
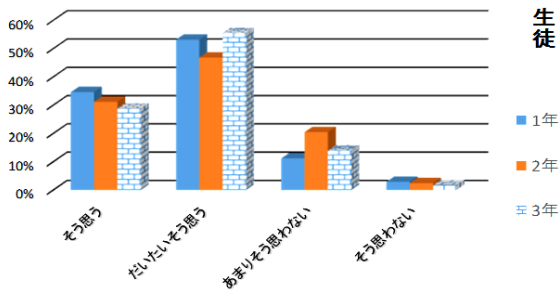
7. あなたは、日々の授業や活動を通して、「体力の向上」は図れていると思いますか。



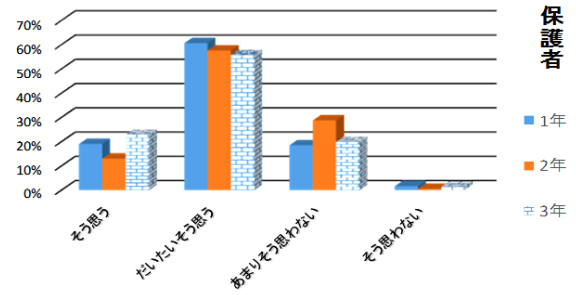
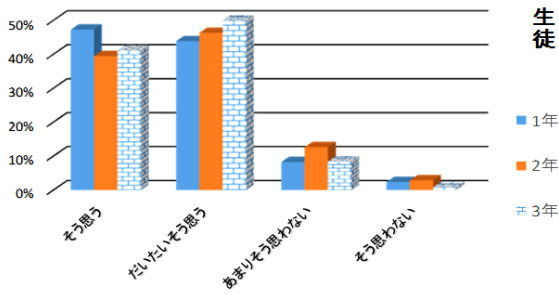
8. 授業は分かりやすいですか。



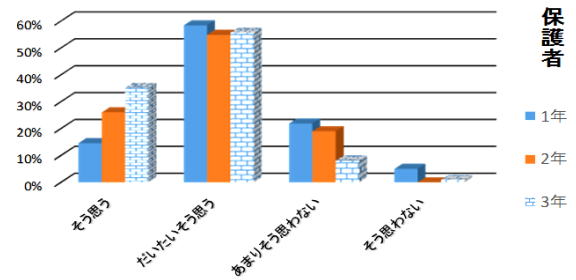
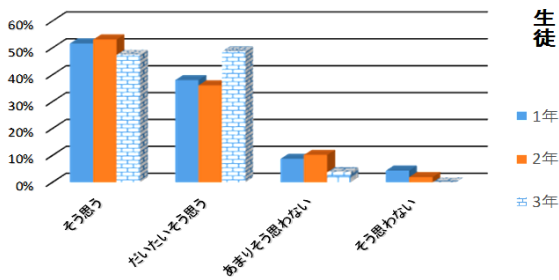
9. 山内中では、健康安全教育や食教育に積極的に取り組んでいると思いますか。



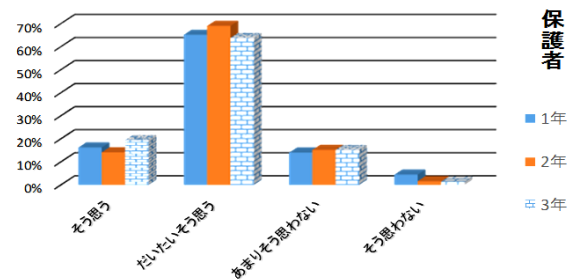
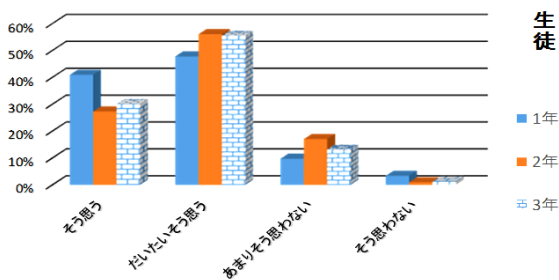
10. 山内中では、職業講演会、「なるには発表会」、進路学習などを通して、自分の生き方を考えるキャリア学習は充実していると思いますか。



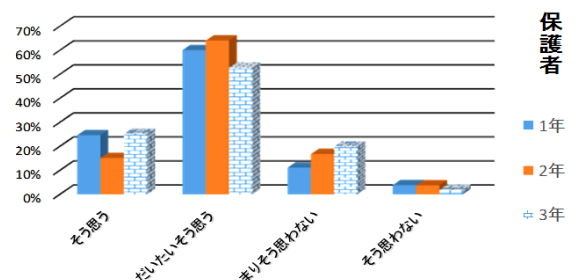
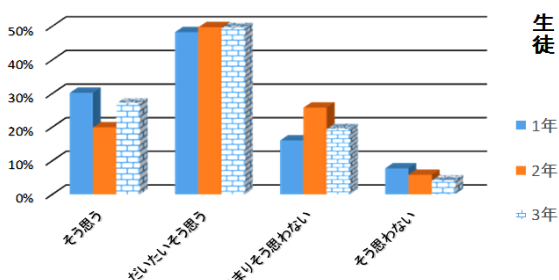
11. 山内中では、体育祭、山内祭、校外学習などが充実していると思いますか。



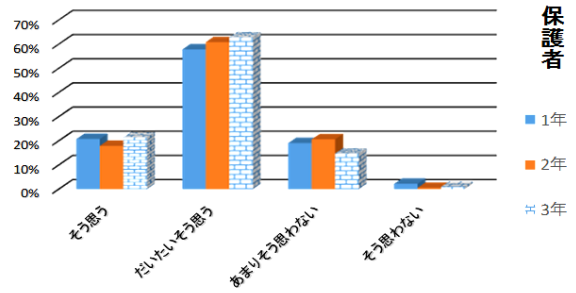
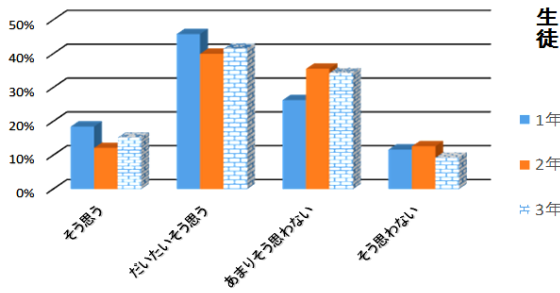
12. 学校生活でトラブルが発生した時には、先生方は素早く対応してくれますか。



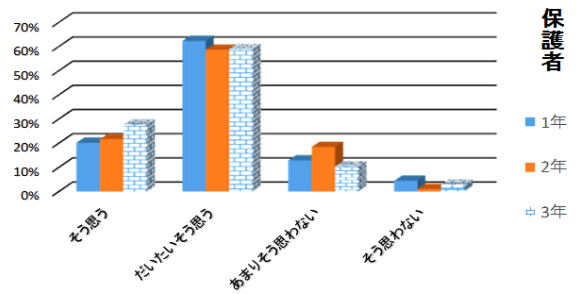
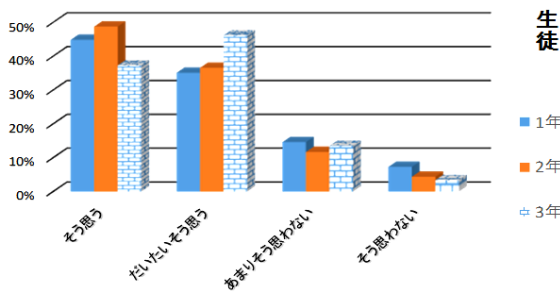
13. 学校生活の中で先生と相談しやすい雰囲気がありますか。



14. あなたは、保護者や地域と協力した行事に取り組もうとしていますか。



15. あなたは、学校だよりや学校からのプリント等を保護者にきちんと渡していますか。



<全体的に>

- ほとんどの質問項目に対して、生徒・保護者・教職員共に「そう思う」「だいたいそう思う」という肯定的な意見が約8割に達するものが多く、今年度感染症予防対策のために学習活動や行事等がかなり制限された中でも、山内中では安定した教育活動が行われていると言える。しかも、生徒・保護者・教職員の結果をグラフ化したところ、グラフの形がほぼ同じであることから、三者の捉えにさほど開きがないと言える。
- ただ、令和元年度（前年度）に比べて生徒の「そう思う」の割合が向上したのに対して、保護者の「そう思う」の割合が低下している。これは、活動制限があっても精一杯頑張ったと生徒は思っているが、保護者は学校へ来る機会が減り、学習成果や教育活動が見えにくくなっているためであると考えられる。

<1 教育目標に向けて>

- 生徒・保護者の約80%は「山内中は教育目標を目指して、授業や学校行事・部活動などが行われている」と感じている。ただ、生徒の「そう思う」は学年が上がるにつれ、下がっている。昨年も現3年生、つまり当時の2年生の否定的（「あまりそう思わない」「そう思わない」）な割合が多かったが、自信のなさの現れのように思われる。
- 学校教育目標が、生徒・保護者に浸透しているか、と言う点も疑問であるが、指導する教員が日常的に学校教育目標を意識して指導し、教育活動を展開していく必要がある。

<2 あいさつ>

- 生徒・保護者・教員共に「あいさつをしっかりとっている」と評価し、しかも学年が上がるほど「そう思う」の割合が高い。3年生が最も高いのは、良い習慣が醸成されている表れと言える。
- 自由記述の中には、以前よりあいさつが減ってきている、という指摘が散見される。今年度は特に、マスク着用で、どうしても大きな声で元気の良いあいさつがしづらいことは確かであるが、教職員や大人が率先してあいさつをすることで、あいさつを習慣化し、気持ちの良いあいさつを学校内外で続けていけるようにしていきたい。

<3 目標をもった学校生活>

- 生徒・保護者・教職員共に80%近くが「目標をもって生活している」と回答している。特に、生徒は「そう思う」が「だいたいそう思う」を上回っており頼もしく感じる。
- 目標をもてずに生活している1割ほどの生徒へのアプローチを考えていきたい。



< 4 基礎的・基本的な知識・技能の定着 >

< 5 思考力・判断力・表現力の定着 >

< 6 主体的な学習態度 >

○生徒・保護者・教職員共に「基礎的・基本的な知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的な学習態度」は身に付いていると8割ほどが肯定的に回答している。

○ただし、「基本的・基礎的な知識・技能」が「思考力・判断力・表現力」より、「そう思う」の割合が高い。

○「主体的な学習態度」が身に付いているという項目で「そう思う」と答えたのは生徒が最も多く、3割近くに上る。特に3年生35%が「そう思う」と応えており、進路に向けて、高い意識が伺える。

●主体的に学ぶ姿勢があるという結果は頼もしい。これからもその姿勢を大切にして学んでいってほしい。

●本校の生徒の特徴として知識習得や暗記には自信があるが、自分で考え、まとめ・分析したり、自分のことばで表現したりすることにはやや自信をもてないようである。来年度から実施される新学習指導要領でも重視されている**思考・判断・表現は、今後ますます必要な力となるので、各教科や総合的な学習の時間の中で、考え、まとめ、発表する機会を増やすことで力をつけさせていきたい。**

< 7 体力の向上 >

○保護者には学年ごとの差はあまり見られないが、生徒は学年の差が大きい。1年生の半分が「そう思う」と答えているが、学年が上がるにつれて肯定派が減り、3年生の「そう思う」は1年生の半分の25%ほど。3年生にとっては、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、休校になり、部活動がなくなり、最大の力を発揮する部活動の大会が次々の中止にされた無念さと2年間鍛えてきた力を発揮することが出来なかった口惜しさを感じられる。

●今現在も体育的な活動が十分行われていないが、保健体育の授業や部活動を通して、出来る範囲で体力向上を図っていきたい。

< 8 分かりやすい授業 >

○教員は90%ほどが「授業は分かりやすい」と回答しているが、生徒や保護者は80%にとどまる。教員は分かりやすい授業を行っているつもりでも、全ての生徒にとって分かりやすい授業とは限らないわけである。

●自由記述にも、**授業が分かりにくい、分かりやすいかどうかは教科担任による等の意見が書かれている。生徒が質問しやすい雰囲気を作ったり、フォローアップできる体制（時間）を作ったりする必要がある。**

●山内中は点数の付け方が厳しいといううわさが流れているようだが、各教科担任は目標に準拠した観点別評価をしている。各教科担任が、授業ごとのねらい（目標）を提示したり、少人数授業やTT、AETや情報機器を活用したりして、より分かりやすい授業を行っていききたい。

< 9 健康安全や食教育 >

○生徒と教員の8割は肯定的な回答であるが、保護者の肯定派は6割程度しかない。

●今年度はマリノスの食教育、キリンによる熱中症対策に有効な水分補給の仕方、栄養教諭による食育便りの発行、文化祭時の保健安全委員による簡単で栄養のある朝食紹介等食教育に昨年以上に力を入れた。

●来年度は防災教育にも取り組んでいく予定である。

●食育や生徒の健康安全に関しては保護者の協力が必要であり、バランスの取れた食生活や登下校時や放課後の過ごし方などは保護者の方々と連携していく必要がある。

< 10 キャリア教育 >

○生徒・教員の90%は肯定的な回答で、生徒自身が役に立った学習であると実感していることは嬉しいことだ。職場体験がなくなった2年生の保護者は、肯定派が昨年の85%から65%に落ち込み、否定派が10%から25%に増えた。体験することの重要性を物語っている結果と言える。

●本校では総合的な学習の時間を中心に、地域の方々の協力を得ながら、1年生では「ジョブインタビュー」と「職業講演会」、2年生では「職場体験」を実施する中で「生き方」を考え、3年生では各自の進路に向けて主体的に取り組んでいけるように指導しているが、今年度2年生は職場体験が行えず、「○○になるには」発表会を実施した。**3年間のキャリア学習がより系統的に実施されるようにカリキュラムを考えていきたい。**

< 11 学校行事 >

○毎年、生徒・保護者・教員共に最も肯定的な回答が多いが、特に今年度は生徒・教員の半数以上が「そう思う」と回答した。**行事の中止や縮小が余儀なくされた中でも、工夫して精一杯やったという実感が生徒にも教員にもあると言える。**

●生徒は仲間と協力して一生懸命に取り組み、よりよいものをつくりあげよう、大いに楽しもう、という意識で行事に臨んでいる。その結果、**生徒には自己有用感が育まれ、集団としての達成感や成就感も生まれている。これからもこの良き伝統が続くよう指導・支援していきたい。**

<12 トラブル対応>

<13 相談しやすい雰囲気>

- 全体の傾向は昨年同様であるが、トラブル対応に1年生生徒の40%が「そう思う」と答えたことは特筆すべきである。
- 教員に相談しやすい雰囲気があるかという項目では、生徒や保護者、教職員共に肯定意見は多いものの、「そう思わない・あまりそう思わない」がどの区分でも20~25%あり、自由記述にも**教職員の指導に対する不信や要望**が寄せられている。
- 何か起きたり、相談事がある時にはためらわずに、学級担任、学年職員や部活動顧問、或いは養護教諭や生徒指導専任、スクールカウンセラーなど話しやすい教職員に悩みを打ち明けたり、相談して欲しい。教員も話しやすい、相談しやすい雰囲気をつくっていくよう努めなければいけない。

<14 保護者・地域との協力>

- 今年度は地域や小学校と関係する行事もPTA祭もなかったので、特に生徒の半数近くが「あまりそう思わない」「思わない」と回答した。
- PTAの方々には日頃より教育活動を献身的に支えて頂いており、心より感謝しています。PTA祭や地域清掃ボランティア、地域の祭り等には全員でないが生徒も積極的に参加している。今後とも保護者・地域の方々との連携・協力を大切にしていきたい。

<15 情報発信>

- 保護者は昨年と変わらない傾向だが、生徒は肯定派が増えた。休校期間のホームページ等での配信を活用したことが影響していると考えられる。
- 本校では、学校便り、PTAだより、学年通信や学級通信等で情報発信を行っている。今年度の臨時休校期間はホームページでの伝達も行った。自由記述にも、学区小学校がペーパーレス化を進め、オンラインを利用した情報発信を行っているので、本校の情報発信手段がスマートでないとの指摘があることは事実である。努力していきたい。

令和2年度 学校評価 学校関係者評価 ~主任児童委員~

<1 教育目標に向けて>

- コロナ禍の中で、十分な教育活動が行えない中、高い評価を得ている点は素晴らしいと思う。

<2 あいさつ>

- 学校訪問時に受ける挨拶はとても気持ちが良い。先生方の挨拶される雰囲気が生徒に伝わっているのだと思う。大事にしていきたい伝統である。

<3 目標をもった学校生活>

- そう感じている生徒・保護者が多いことはとても大切なことである。目標をもつことは生きる意欲につながる。

<5 思考力・判断力・表現力の定着>

- 「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答している教員が3割に上る。
- 今後学び方も変容していくと思うので、先生方の取り組みに期待したい。

<7 体力向上>

- 体力向上が図られていると肯定的な意見が多いのは、部活動が盛んなことも影響していると思う。

<11 学校行事>

- コロナ禍においても高い評価を得ているのは、今までの伝統と先生方の努力だと思う。行事が充実していると生徒は色々な体験ができるので、素晴らしいことだと思う。

<13, 相談しやすい雰囲気>

- 2割強の生徒と約1割の教員が「そう思わない」を選んでいるのが、とても残念である。中学生はなかなか相談しづらい年齢だろうが、先生方も相談しやすい雰囲気(環境)作りに努力して欲しい。

<14 保護者・地域との協力>

- 生徒と保護者の認識に差があるのがおもしろい。保護者は熱心のようなのだが、災害時は地域との連携・協力は大切なので、中学生がもっと地域とつながれるようなイベントを地域としても考えられると良いと思う。

3月の主な予定

- 11日(木) 第74回卒業証書授与式
- 15日(月) 1年 スポーツ大会
- 16日(火) 2年 スポーツ大会
- 17日(水)～22(月) 教育相談(1・2年)
- 17日(水) 1年 百人一首大会
- 18日(木) 2年 百人一首大会
- 25日(木) 大掃除
- 26日(金) 修了式

